

# たまなみ

平成29年度

第1回 川崎市学童軟式野球たまなみ大会



川崎市少年野球連盟 学童部

## ● 『たまなみ』の由来と意味

『たまなみ』は、もともと川崎市少年野球連盟 学童部がその初期に発行した機関紙に採用した誌名で、連盟のシンボルのようなことばであります。

私たちの川崎市は、南北に20 kmにわたってながくのびた、街の全体が多摩川の南側に沿って発展してまいりました。

市民のだれもが多摩川の南岸にあって、そのやさしい風をこよなく愛します。

すなわち『たまなみ』とは、川崎市の位置を示す”多摩川の南”の意にほかなりません。

けれども、それだけでは十分な説明になりません。

『たまなみ』の「なみ」とは“多摩川の波”とともに川崎市少年野球連盟 学童部を中心にして集まった“人の波”をあらわします。

さらにこの「なみ」をもう少し注意深く広辞苑などによって掘り下げてみますと、

そこには「ならんだもの」「同類」などの意味があります。

わたしたちは、川崎市少年野球連盟 学童部に集まった「同類」の波ということになります。

すなわち『たまなみ』とは、“野球の球くたま”を中心にして集まった同類の友”

の意をも含みます。

# 大会要項

- 大会名称 川崎市学童軟式野球たまなみ大会
- 目的 川崎市少年野球連盟加盟チーム全体の交流を目的とした、学童軟式野球大会を開催する。  
全てのチームに、他の地区との交流が出来るような野球大会を開催することで、チームおよび指導者の視野が広がることを目的とする。
- 開催方法 参加希望チームを募り、ベスト8から試合会場および日程を決定します。  
それまでは、それぞれの対戦チーム同士が、試合場所、日程、時間、審判要請等を行い、試合を消化して頂き、準々決勝進出チームを決定する。  
  
試合会場は、抽選番号の若いチームが対戦チームと連絡を取り、試合を消化する。  
試合会場および日程について、大会事務局と各地区評議員が把握、協力する。
- 参加資格 全軟チーム登録（川少連加盟）されているチームに、参加資格があります。  
あくまでも、チームの参加希望で決まります。 スポーツ保険に加入のこと。
- 主将会議 監督とユニフォーム着用の主将が出席して組合せ抽選会を行う。  
日時：3月18日（土）18時30分～  
場所：川崎市民プラザ「ふるさと劇場」（※別添の案内図を参照）
- 参加費 4,000円/チーム  
参加費徴収は監督・主将会議時に行ないます。  
区でまとめ、大会事務局に納めてください。
- 申込期限 平成29年3月5日までに所定の『出場申込書』（別添）に記入し、申し込んでください。
- 試合球 ナガセケンコーボールC号球  
ベスト8の試合より、大会本部が準備いたします。  
試合毎にチーム2個（合計4個）を抛出する。ロジンはチームで準備する。
- 試合結果 所定の『試合結果報告書』（別添）で、当該勝利チームが大会事務局に試合結果を報告する。試合結果は、川少連ホームページに掲載する。
- 組合抽選 同一地区チームの対戦は、出来るだけ2～3回戦以降に発生するよう工夫する。
- 規則 2017野球規則・競技者必携、および2016年川少連大会適用の「大会規程-1、-2、-3」（別添）を適用する。  
また、試合会場のグラウンドルールは試合前に当該チーム間で確認して試合を行う。
- 審判について 準々決勝までの試合は、1チーム2名の審判員を帯同してください。  
審判員は地区審判部長および野球指導者により審判にふさわしい服装で行ってください。

● 日 程 (案)

日程計画		日程計画
主将会議	抽選会場：川崎市民プラザ「ふるさと劇場」 監督（代理可）とユニフォーム着用の主将が出席	3/18(土) 18：30～
一回戦	対戦チーム話し合いにて球場設定 審判員は当該地区審判員の協力を得る (94チーム参加の場合 30試合消化)	4/16までに 試合消化
二回戦	対戦チーム話し合いにて球場設定 審判員は当該地区審判員の協力を得る (94チーム参加の場合 32試合消化)	5/7までに 試合消化
三回戦	対戦チーム話し合いにて球場設定 審判員は当該地区審判員の協力を得る (94チーム参加の場合 16試合消化)	6/4までに 試合消化
四回戦	対戦チーム話し合いにて球場設定 審判員は当該地区審判員の協力を得る (94チーム参加の場合 8試合消化)	7/16までに 試合消化
準々決勝	川少連にて試合会場を設定し、 審判部の協力を得て試合消化 (準決勝4試合消化)	7月22日(土) 試合消化
準決勝 決勝戦	川少連にて試合会場を設定し、 審判部の協力を得て試合消化 (準決勝2試合消化) (決勝戦1試合消化後 表彰式)	7月23日(日) 試合消化
予備日	天候不良による予備日とする	8月5日(土) 6日(日)

- 本大会の優勝チームに上部大会出場枠（横浜銀行カップ）を付与する。
- 参加チームリストを全てのチームに配布する。（監督名とチーム連絡窓口の携帯番号を記載）  
参加申込書の監督名・携帯番号・メールアドレス（携帯/PC）を大会事務局で把握します。  
（大会運営上、チーム連絡確保のための利用としますのでご了承ください）
- 準々決勝・準決勝・決勝の日程が、地区大会もしくは県大会と重なり出場できない場合は、棄権の扱いとする。  
なお、県大会に出場決定したチームはその時点で次の試合は辞退（不戦敗）とする。

## 大会運営に関する事項

本大会は、「公認野球規則(2016年)」・「(財)全日本軟式野球連盟の競技者必携(2016年)」および、この「大会運営に関する事項(大会特別規則を含む)」を適用する

## 1. 参加資格

- (1) 平成28年4月1日現在、川崎市少年野球連盟 学童部に加盟している団体(区単位)に所属する小学年齢層の野球チームとする。
- (2) 本大会に出場するチームは、年間を通じて地区大会に出場し、かつ全日本軟式野球連盟および川崎市少年野球連盟 学童部に登録したチームとする。

## 2. 監督主将会議

監督主将会議には、監督とユニフォーム着用の主将が出席すること。

- ① 監督主将会議では、「組合せ抽選」を行います。
- ② 会議で決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させてください。

## 3. 大会特別規則

- (1) 試合は7回戦とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間30分を経過したらそのイニングが最終回となります。  
(注) 決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となります。
- (2) タイブレーク方式(特別延長戦)  
7回を終了して同点の場合、決められた時間が経過して同点の場合はタイブレークで行います。  
タイブレーク方式は、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者をそれぞれ二塁、三塁の走者(投手は除いてもよい)とし、無死満塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとします。  
勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返します。なお、勝敗が決しないときは、抽選で勝敗を決定します。  
(注) 大会運営上7回が終了するか、決められた時間が経過して同点の場合は、タイブレーク方式を行わず、抽選で勝敗を決定する場合があります。  
(抽選) 抽選は、○×式とし、○印の多いチームを勝ちとします。
- (3) 得点差によるコールドゲーム  
得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差・5回以降7点差とします。
- (4) 再試合  
試合が4回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、また4回が過ぎて同点で試合が中止になった場合(正式試合で対ゲーム)の場合、再試合を行う。  
ただし、以後の試合日程から試合の勝者は、一日2試合を行うこととなります。
- (5) 投手の投球制限  
投手の投球については、肘、肩の障害防止を考慮し、一日7イニングまでとします。但し、タイブレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り、一日最大9イニングまで投げることができます。  
(注) 投球イニングに端数が生じたときの取り扱いは三分の一回(アウト一つ)未満であっても1イニング投球したものとして数えます。

## 競技運営に関する事項

1. その日の第1試合は、試合開始予定時間の30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで打順表を5通（登録された全員を記入し、必ずふりがなを付けたもの）を監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもとに攻守を決定します。  
（注）前の試合が早く終了した場合は、次の試合を試合開始予定時刻前に開始することがありますので、試合開始予定時刻30分前には球場に到着して前の試合経過に注意してください。
2. ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
  - (1) 試合中ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番、28番、及び選手20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラーとします。  
（注）選手は、必ず10名以上ベンチに入らなければならない。  
なお、ベンチに入る全員が、スポーツ障害保険に加入し、大会期間中に起きた障害事故等は、当該スポーツ保険の適用を受けること。  
また、健康保険の被保険者名番号の控えをもってきてください。
  - (2) ベンチ内で電子機器類（携帯電話、パソコン等）、携帯マイクの使用を禁止する。なお、ベンチ内でメガホン1個限りで使用ができます。
- 3 使用球と用具・装具
  - (1) 大会使用球は連盟公認のC号ボールとし、大会本部で準備します。
  - (2) チームはユニフォーム、アンダーシャツ等は、同色、同形、同意匠の物を使用すること。（連合チームは、背番号を同色、同形、同意匠とすること）  
但し、スパイクについては、同色、同形の物であれば使用できます。  
（金属のついたスパイクは使用できません）  
尚、裾幅の広いストレートタイプのユニフォームは、監督、コーチも含めて使用を禁止します。
  - (3) ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字又はローマ字による県名を必ず付けなければなりません。尚、他のものを付けることができません。
  - (4) バットは、金属バット、ハイコンバットは、JSBBのマークの付いた公認を使用すること
  - (5) 捕手の装具は、連盟公認のマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを使用すること。また、危険防止のためファールカップも必ず装着すること。
  - (6) 打者、次打者、走者、ベースコーチも連盟公認のイヤーフラップ付きのヘルメットを着用すること。
- 4 シートノックを行う場合は5分間を限度とします。シートノックのとき、補助員として、コーチ（背番号28、29）も認めます。  
ただし、大会運営上シートノックを行わず試合を開始することがあります。
- 5 球場内での練習は、外野に限り行うことを認めます。（フリーバッティングは厳禁です）
- 6 小雨の場合でも、球場の使用が可能な場合は試合を行うことがあります。

## 連 盟 取 り 決 め 事 項

## 1 ファールボールの処理について

ファールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチが、三塁側のものは、三塁側ベンチが、本塁後方のものは攻撃側で処理してください。

## 2 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代をすること。

## 3 試合のスピードアップについて

## (1) 準備投球について、

投手の準備投球は、試合開始の表裏及び救援時には投手は捕手を相手に5球（時間にすれば1分以内）とし、次回からは3球とします。

## (2) 攻守交替について、

攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレーヤーは速やかにベンチを離れて駆け足で守備に向かうこと。特にバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチから出ること。

## (3) 守備側のタイムの回数制限について、

捕手を含む内野手が、1試合に投手のところに行ける回数は、7イニング試合にあっては3回以内とします。

尚、延長戦となった場合は、2イニングに1回行くことができます。投手のところへ行くときは、往復を駆け足で行いプレイの開始を遅らせてはなりません。

## (4) 攻撃側のタイムの制限について、

攻撃側のタイムは、1試合に3回とします、なお、延長戦（タイブレイク方式）は、2イニングに1回とします。

## (5) 内野手の転送球について、

内野手間の転送球は、一回りとし、打者が打者席で打撃姿勢を取る前までに投手に返球できるようにしてください。

（注）試合が著しく遅れている場合は、試合の進行を早めるため内野手間の転送球を禁止する場合があります。

## (6) 内野手の投手への返球について、

投手に返球する内野手は守備位置を離れずに、投げ渡してください。

## (7) 投手の投球間隔について、

投手は、捕手のサインを見るときは、必ず投手板について見ることを厳重に実施すること。

## (8) 投手の塁への送球について

離塁していない塁への送球は遅延行為でボークになります。また無用と思われる塁への送球が度を過ぎると審判員が判断したら、反則行為とみなされます。

## (9) 捕手について、

投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。

## (10) 打者について、

打者は、速やかに打者席に入って打撃姿勢を取ること。また、打者席内でサインを見ること。

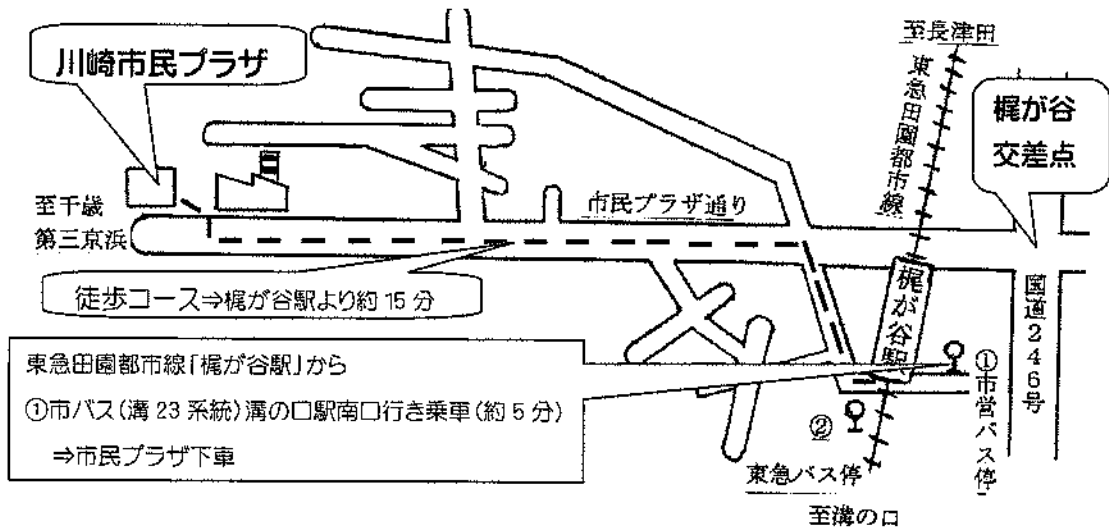
- (11) 走者について、  
ファールボールが打たれたときは、速やかに戻って、元の塁に触れること。
- (12) 内野手について  
内野手が投手の所へ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレイの開始をおくらせてはなりません。
- (13) ベンチについて  
ベンチから無用と思われるサインを送ることは許されません。
- (14) ネックウォーマの着用は、季節を考慮し着用することができます。
- (15) サングラスは、大会本部の承認なしに使用することができます。ただしミラーレンズの使用を禁止する。
- (16) その他の事項については、全日本軟式野球連盟発行の競技者必携、少年野球に関する事項を読んでください。

#### 4 その他

- (1) ネクストバッタースボックス内での注意事項
  - ① 危険防止のため、バットの素振りをしないこと。
  - ② 次打者はボックス内で片膝をついて待つこと。
- (2) グランド出入口は、試合中封鎖し関係者以外の入場を禁止する。  
また、喫煙・その他無用の出入りを禁止する。
- (3) 次の試合のバッテリーは、5回終了以降にグラウンド内ブルペンで投球練習を行って良い。
- (4) 会場周辺の公園・空き地では、バット・ボールを使う練習はしない。  
【ノック・バッティング（トス・ティ・フリー）・バットの素振り・キャッチボール等】
- (5) 開会式・閉会式に出場するチームは、各チームで用意するプラカードを掲げて入場すること。（プラカードのサイズは規定されております）
- (6) 自動車の駐車について、
  - ① 自動車の駐車は、会場専用自動車駐車場・有料自動車駐車場を利用し、路上駐車で近隣に迷惑をかけないこと。
  - ② 会場専用自動車駐車場を利用する場合は、所定の「駐車票」に必要事項を記入してダッシュボード上に置き、必要に応じ連絡ができるようにすること。  
（駐車票用紙は、監督主将会議で関係者、出場チームに必要な応じ配布する）
- (7) 各区連盟・チームの優勝旗その他の旗等を開会式・閉会式の際に掲げて良い。
- (8) ゴミ・空き缶・空き瓶は会場・公園のゴミ箱に捨てずに持ち帰ること。
- (9) 大会期間中における障害事故については、応急処置はするが大会本部で責任は取らない。

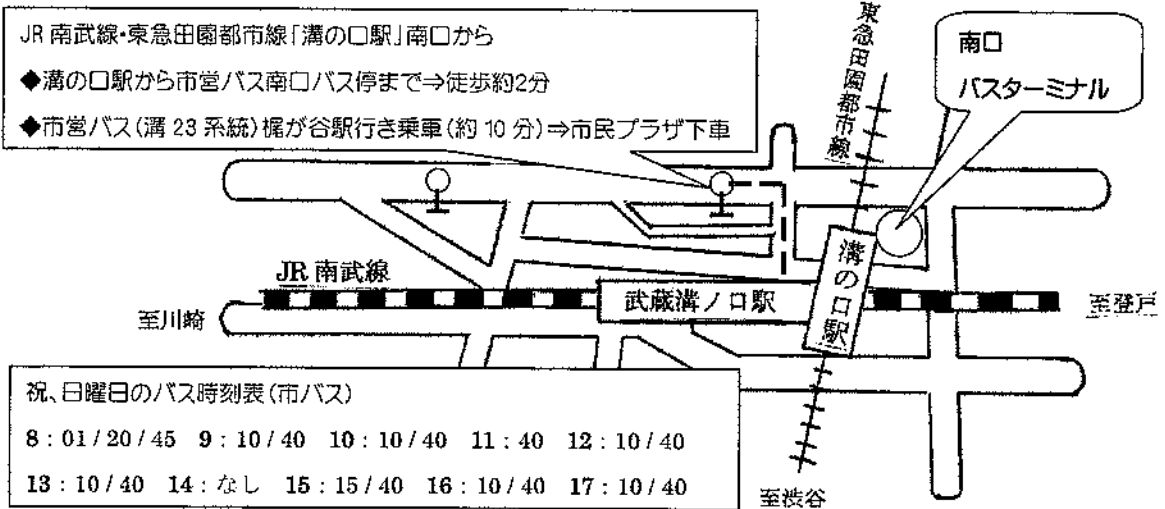


# 川崎市民プラザへのアクセス



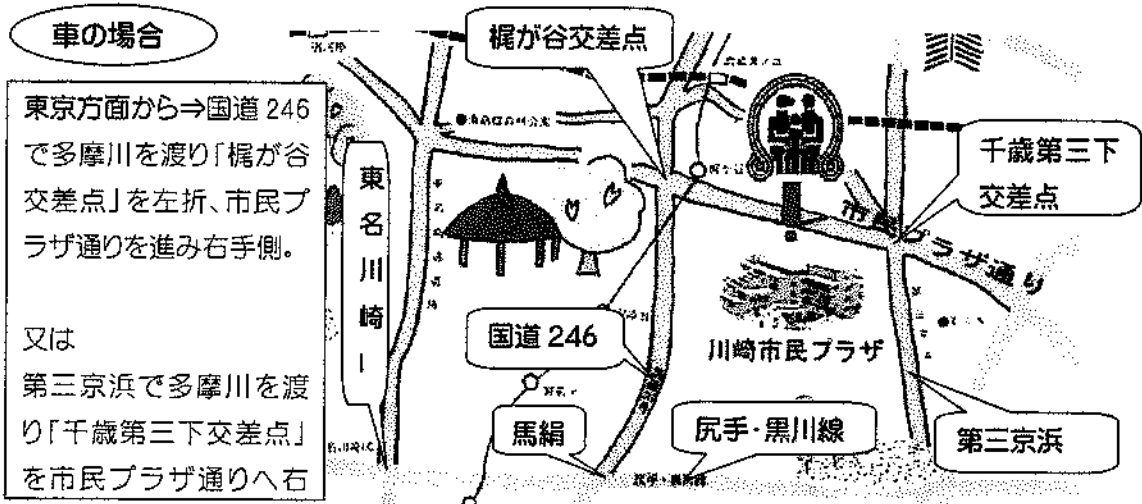
祝、日曜日のバス時刻表(市バス)①

8:25/45	9:10/40	10:10/40	11:10/40	12:10/40	
13:40	14:10/40	15:10/40	16:10/40	17:40	18:10



## 交通関係所要間

★東急線:渋谷・大井町から ★南武線:川崎から溝の口まで約25分 / 立川から溝の口まで約35分



※改修工事期間中のため駐車場が大幅に制限されています。電車・バスを利用ください。